第43回 住まいのリフォームコンクール

優秀賞

タイトル	ピアノの音が聞こえる家
設計	永峰昌治建築設計事務所
施工	(株)真柄工務店
所有・建方形式	持家一戸建
構造	在来木造
講評	家族が集まるダイニングを陽当たりの良い南側に移動し、耐力壁で囲われた家族の納戸を中心に置くことで、回遊性の高いプランに再構成されている。リビングとダイニングはオープンに繋がりながらも、既存柱が象徴的に現され、床仕上と相まって団欒の様子が感じられる。

リフォーム前後の写真

Before


①居間をみる。


②台所・食堂を見る。


③和室から居間方向をみる。


②台所から庭側をみる。庭に面して家族が集まる場所を設えた。


④右手の雰囲気のある既存の玄関ドアは塗装して再生させた。


③南北に視線が抜けるのびやかな空間。



リフォームの動機／設計・施工の工夫点／施主の感想・満足度／社会や地域の課題解決に資する取り組み等、審査基準に適合することを示す具体的内容

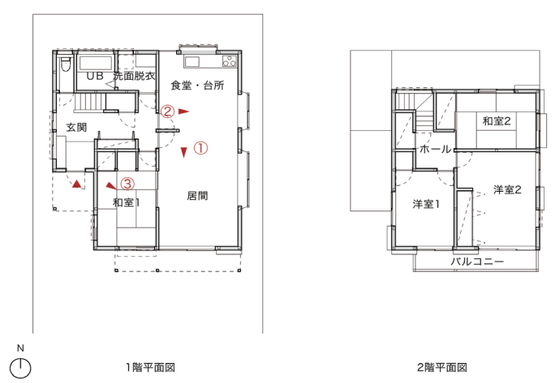
家族5人がのびのびと暮らせる、明るくおおらかな住まいを目指した築48年の戸建てリノベーションである。既存住宅では、食卓が庭から遠い北側に配置され、庭に面した和室も十分に活用されていなかった。また、耐震診断では上部構造評点0.14と大地震への備えに大きな不安があり、断熱性能も十分とは言えない状態であった。本計画では、既存基礎を活かしながら上部構造の耐震補強を行い、上部構造評点1.50を確保した。さらに床・屋根・開口部を中心に断熱改修を行うことでUA値0.65W/㎡Kまで性能を向上させ、安心で快適に暮らせる住環境を整えた。間取りの再構成では、耐力壁の配置を工夫しながら、庭に面した明るい場所に家族が集うダイニングを配置した。1階には大きな家族のための納戸を2箇所設け、その壁を耐震補強と一体的に計画している。また、補強壁によって生まれた一角には、大きなカウチソファを備えた小さな くつろぎの場を設けた。そこで家族は、子どもたちが奏でるピアノの音に耳を傾けながら、本を読んだり会話を楽しんだり、それぞれの時間を過ごすことができる。この場所だけは床をカーペット仕上げとし音の響きにも配慮した。既存住宅の性能と価値を高めながら、耐震補強や断熱改修を単なる制約として捉えるのではなく、家族の新たな居場所へと転換した。安全性と快適性の向上に加え、家族の日常を豊かに育む住まいへ再編集したリノベーションである。

右記に該当する場合は✔（審査基準参照）　☑ a.ストックの有効活用 ／ ☐ b.技能者不足への対応 ／ ☐ c.地域・コミュニティの活性化 ／ ☑ d.既存流通の活性化等

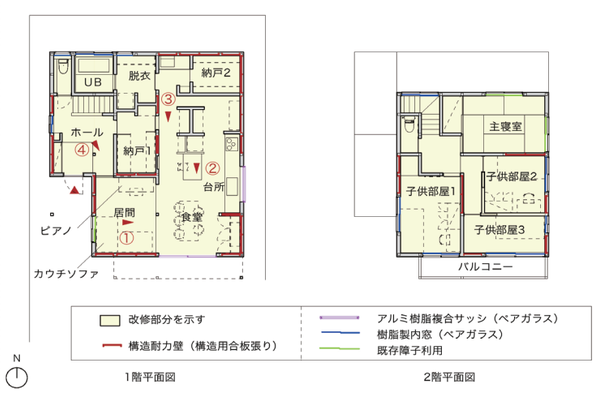
Iw値 Is値	リフォーム前	0.14	リフォーム後	1.5	UA値	リフォーム後	0.65	性能向上等、特に配慮した事項	断熱・気密・耐震性能を向上させ、創作活動や友人との交流を楽しみながら人生後半を豊かに暮らせる住まいへ再編集した。

所在地	神奈川県川崎市	新築竣工年	1978 年	築後年数	48 年
施工期間	210 日間				
該当工事床面積	114.27 ㎡	／総工事床面積	114.27 ㎡	該当部分工事費区分	1,900万円
／総工事費区分	1,900万円				
居住者構成	65 歳以上：	人 ／ 40 ～ 64 歳：	2 人 ／	15 ～ 39 歳：	人 ／
14 歳以下：	3 人 ／	ペット：			

リフォーム前の平面図



リフォーム後の平面図



ﾘﾌｫｰﾑ部位：■居室/ ■台所/ ■浴室/ ■便所/ ■洗面所/ ■廊下/ ■階段/ ■玄関/ ☐ｴｸｽﾃﾘｱ/ ☐ﾏﾝｼｮﾝ共用部分/ ☐その他